

厚生労働省依存症治療拠点病院事業 「わが国の依存症支援におけるCRAFTの可能性」

主催: 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部・久里浜医療センター

日時: 2015年9月4日 13:00～17:00

場所: 東京 八重洲ホール 901室

定員: 50名(定員に達し次第締め切らせていただきます)

費用: 無料

【基調講演】

HENDRIK G. ROOZEN(ティルブルグ大学)

「オランダにおける薬物依存者支援の現在」

逐次通訳付き(通訳者: 菊池安希子: 国立精神・神経医療研究センター)

【パネルディスカッション】

「わが国における依存者家族支援の現状と課題」

話題提供

近藤あゆみ(新潟医療福祉大学)

「依存症者家族支援ツールの開発とその実践(仮題)」

藤田さかえ(久里浜医療センター)

「アルコール依存症における家族支援の現状と課題(仮題)」

今井航平(群馬県立精神医療センター)

「精神保健福祉センターでのCRAFTの試み～GIFTの開発と実践(仮題)」

森田展彰(筑波大学)

「依存症者家族の支援と虐待・DV問題(仮題)」

司会: 松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター)

【申し込み方法】下記連絡先にメールでご連絡ください

【連絡先】国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 松本俊彦

tmatsu @ncnp.go.jp